

◇内住の第三の領域 普遍的教会の中に エペソ 2 : 11～22

1. 11～12 節 ユダヤ人と異邦人とは、分離されていた
2. 13～18 節 ユダヤ人と異邦人に関しての和解について
 - (1) ユダヤ人と異邦人とがお互いに和解すること (13～15 節)
 - (2) 両者が、神に対して和解すること (16～18 節)
3. 19～22 節 普遍的教会
 - (1) 19 節 神の家族・・・信者は全員がひとつの普遍的教会に属する
 - (2) 20 節 普遍的教会の土台は使徒たちと新約の預言者たち、土台の要石はメシア^{かなめいし}
 - (3) 21～22 節： 20 節の「キリスト・イエスご自身」を受けた関係代名詞で始まる

20 節 要の石、キリスト・イエスご自身

21 節 そのお方であって、建物全体が ともに組み合わされて 成長し
 ～になる 聖なる宮 主 にある

22 節 そのお方であって、あなたがたもまた ともに築き上げられ
 ～になる 神の御住まい 御霊 にある
 - ① 土台の上に立てられる建物は、信者たち。普遍的教会である。22 節の「あなたがたもまた」とは異邦人信者を指す。土台の使徒たちや預言者たちはユダヤ人、初代教会にはまずユダヤ人信者が組み合わされた。そして次に異邦人に門が開かれた。今はユダヤ人と異邦人がともに築き上げられる。
 - ② その建物は、主にある「聖なる宮」、御霊にある「神の御住まい」である。
 - 21 節と 22 節は同じことを指して、表現を変えて 2 回繰り返す。
 - 「聖なる宮」と「神の御住まい」が同じものを指している。いずれも、普遍的教会である。
 - 「主」と「御霊」も、同じお方を指している。いずれも、聖霊である。Ⅱコリ 3 : 18 には「御霊なる主」とあり、聖霊を主と呼ぶこともある。
 - よって、21 節と 22 節は、普遍的教会の中に聖霊が住まわれるということをお教えている。
 - ③ 信者を普遍的教会につなげる働きも、聖霊の働きである。第三の働きへ。

□聖霊の第三の働き 聖霊のバプテスマ

この働きは、新生と同時に 1 回限り、起きる。信者をメシアの死と葬りと復活に結び合わせ、メシアと一つにする働きである。これにより、信者は「キリストにある」という地位を受け取り、普遍的教会に属する信者となる。普遍的教会は目に見えない霊的なひとつの組織であり、「キリストのからだ、その頭^{かしら}はキリスト」と表現される。

この働きは教会時代に特有のものであり、教会が携挙されたあとには、この働きはない。

◆アウトライン

1. 聖霊のバプテスマとは
2. 聖霊のバプテスマを受けたときに何か感じたり、何か特別なことを体験するのか？
3. 教会時代に特有なものである
4. 信者が「一つのからだ」とされる
5. 信者がメシアに似た者とされていく聖化との関係
6. 霊的祝福との関係

1. 聖霊のバプテスマとは

- (1) 「バプテスマ」の意味：元の意味は、水や染料に浸すこと

→ 何かと一体化する、何かと結びつく

- (2) I コリ 10:1～2 私たちの先祖はみな雲の下にいて、みな海を通して行きました。

そしてみな、雲の中と海の中で、モーセにつくバプテスマを受け

・・・イスラエルの民が、雲と海の中を通して、指導者モーセと一体となった

- (3) ロマ 6:3～5 それとも、あなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたのではありませんか。私たちは、その死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、ちょうどキリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも新しいいのちに歩むためです。私たちがキリストの死と同じようになって、キリストと一つになっているなら、キリストの復活とも同じようになるからです。

・・・ここでは、聖霊のバプテスマは、「キリスト・イエスにつくバプテスマ」と表現されている。聖霊が、私たちを メシアの死と葬りと復活 と結びつけ、

「キリストと一つ」にする。(注) 詳しくは、第二章の「メシアに結び合わされること」で

- (4) エペソ 5:23 キリストが教会のかしらであり、ご自分がそのからだの救い主である・・・メシアと一体化された私たち信者の総体は、目に見えないひとつの教会である。教会はメシアのからだであり、メシアはそのかしらである。

【補足】この教会を、神学上は、目に見える地上の教会（地域教会）と区別するために、「普遍的教会」と呼ぶ。

聖書では、普遍的教会も地域教会も、「教会」と記されているので、文脈で判断する必要がある。

普遍的教会は真の信者たちだけから成るのに対し、地域教会にはまだ信者になっていない人はもちろん、偽教師などもその中にいる。

- (5) 聖霊のバプテスマについては、「キリストにつくバプテスマ」のほか、聖書は次のような表現もしている・・・「キリストを着た」、「キリストの割礼を受けた」

- ① ガラ 3:27~29 キリストにつくバプテスマを受けたあなたがたはみな、キリストを着たのです。ユダヤ人もギリシア人もなく、男と女もありません。あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです。あなたがたがキリストのものであれば、アブラハムの子孫であり、約束による相続人なのです。

- ② コロ 2:11~12 キリストにあって、あなたがたは人手によらない割礼を受けました。肉のからだを脱ぎ捨てて、キリストの割礼を受けたのです。バプテスマにおいて、あなたがたはキリストとともに葬られ、また、キリストとともによみがえらされたのです。キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じたからです。

・・・人手による割礼は、包皮の一部を切除するだけであるが、キリストの割礼は、「肉のからだを脱ぎ捨てる」割礼である。